



新年のご挨拶

院長 吉田 良一

明けましておめでとうございます。皆さまには健やかな新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。また日頃から、済生会宇都宮病院の運営に対しご支援ご協力をいただき、厚く感謝お礼申し上げます。

さて、当院は栃木県救命救急センターを担っており、従来から高度急性期病院として運営を行っております。外来では専門的な治療を要する方、入院では重症救急疾患や集中的に治療を要する方にご利用いただくことが、地域の中での役割であること認識し、日々高い技術の習得、質の向上に努めるとともに、安心安全な医療の提供に取り組んでまいりました。

年々少子高齢化が進む中、医

療・福祉のニーズは益々大きなものとなってきております。今後、当院が高度急性期医療の役割を維持していくためには、地域の病院・診療所・福祉施設・在宅サービス等と連携を行うことができる医療体制を確立することが大変重要なこととなります。

少しでも多くの重症患者さまを受け入れるために、急性期での治療が終わりましたら、回復期や長期療養期の病院に転院、あるいはご自宅にお帰りいただく、地域のかかりつけ医の先生方に診療をお願いすることや、訪問看護・介護サービスをし行う施設でフォローアップをしていただくといったことが必要となつてきます。

その際には、緊密な連携をと

り、ご本人やご家族にご迷惑をおかけしないよう十分に配慮させていただきますので、ご理解下さいますようお願いいたします。

当院は「地域と共に進化し続ける病院」を目指しております。地域の皆様が常に安心して医療サービスが受けられるよう、これからも地域の医療福祉機関と協力した医療体制の確立を目指して、より一層努力してまいりますと考えております。

最後になりましたが、本年が皆様にとって希望に満ち溢れた年になることを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

ちょこっとメモ

2月21日

国際母語デー

国際母語デーとは、言語と文化の多様性、多言語の使用、そしてあらゆる母語の尊重の推進を目的として、国際連合教育科学文化機構(ユネスコ)が1999年11月17日に制定した、国際デーのひとつです。

さて、現在世界で使用されている言語はいくつあると思いますか?さまざまな研究によれば、なんと約6,000語とされています。しかし残念なことに、今後、世界で約2,500の言語が消滅の危機にさらされているといわれています。



編集後記

みやのわ
編集スタッフの



あけましておめでとうございます。今年も皆様のおかげで無事に新しい年を迎えることが出来ました。

昨年の出来事を振り返ると、富士山の世界遺産登録、長嶋茂雄・松井秀喜の国民栄誉賞授与、ザンオールスターズが5年ぶりに活動再開、2020年の東京オリンピック招致の決定、等々良いニュースがたくさんありました。今年は早速2月にソチオリンピックが始まりますね!私はフィギュアスケートが特に楽しみです。しかし、生放送だと日本時間でお昼すぎから夜中になるみたいですが、できる限り生で応援したいと思えます。がんばれ日本!!

この新しい年がよりよき年になるよう心より祈念いたします。私からの挨拶とさせていただきます。本年も「みやのわ」をよろしくお祈りします。